



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野原 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,042	△2.2	439	4.2	1,210	133.8	730	136.2
2022年3月期第1四半期	3,110	△1.0	421	△2.6	517	3.4	309	△1.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,408百万円(106.2%) 2022年3月期第1四半期 682百万円(479.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	47.12	—
2022年3月期第1四半期	19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	63,422	48,337	76.2
2022年3月期	61,409	47,394	77.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 48,337百万円 2022年3月期 47,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,939	△1.9	711	△20.2	919	△23.6	547	△27.8	35.32
通期	12,155	△1.4	1,440	△14.7	1,778	△40.6	1,105	△29.8	71.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,579,060株	2022年3月期	16,579,060株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,081,540株	2022年3月期	1,081,540株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	15,497,520株	2022年3月期1Q	15,497,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、持ち直しの動きがみられる。」とされており、先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

(寝具・リビング用品事業)

当第1四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・減益となりました。

減収・減益の主な要因は、主力のダイレクトセールス部門におきまして、継続的な採用活動により販売員の総数は前年同四半期と比べ概ね同数まで回復したものの、新規販売員の戦力化までは一定の期間を要するため、一人当たり売上高が減少したことによるものであります。ダイレクトセールス以外の販売部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みから回復の兆しが見られるものの、その影響は未だ限定的であり、前年同四半期と比べ概ね横ばいで推移しております。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・増益となりました。

増収・増益の主な要因は、主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビル・調布建て貸し用ホテルの収益が堅調に推移したことに加え、設備関係費が前年同四半期を下回ったためであります。

以上の結果、売上高は3,042,713千円と前年同四半期と比べ67,608千円(2.2%)の減収となりました。営業利益は439,492千円と前年同四半期と比べ17,731千円(4.2%)の増益となりました。経常利益は為替差益の計上等により1,210,494千円と前年同四半期と比べ692,749千円(133.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の経常利益の増益等により、730,189千円と前年同四半期と比べ420,998千円(136.2%)の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は2,786,224千円と前年同四半期と比べ72,660千円(2.5%)の減収、セグメント利益(営業利益)は435,234千円と前年同四半期と比べ14,522千円(3.2%)の減益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は256,488千円と前年同四半期と比べ5,052千円(2.0%)の増収、セグメント利益(営業利益)は154,369千円と前年同四半期と比べ42,356千円(37.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,012,695千円増加し、63,422,069千円となりました。これは主に、金融機関からの借入500,000千円や親会社株主に帰属する四半期純利益730,189千円の計上等によるものであります。なお、現金及び預金が4,520,524千円減少しているのは、資金運用の一環で、満期となった外貨建て定期預金をその他の外貨建て金融資産へ組替えたこと等によるものであり、その結果、投資有価証券が6,030,267千円増加しております。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,069,320千円増加し、15,084,295千円となりました。これは主に、金融機関からの借入により、長期借入金が500,000千円増加したこと、及び配当金支払に係る源泉所得税預り金の増加等により、その他流動負債が463,012千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して943,374千円増加し、48,337,774千円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、それを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が265,263千円増加したこと、及び海外子会社財務諸表の円換算レートの変動により為替換算調整勘定が577,047千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日付の2022年3月期決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,922,872	28,402,348
受取手形、売掛金及び契約資産	4,073,108	4,162,310
棚卸資産	1,173,206	1,364,862
その他	366,371	652,818
貸倒引当金	△75,707	△74,382
流動資産合計	38,459,851	34,507,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,574,103	19,590,635
減価償却累計額	△14,830,709	△14,894,932
建物及び構築物(純額)	4,743,393	4,695,702
機械装置及び運搬具	2,668,104	2,671,562
減価償却累計額	△2,445,215	△2,459,855
機械装置及び運搬具(純額)	222,889	211,706
工具、器具及び備品	613,786	625,023
減価償却累計額	△479,639	△485,670
工具、器具及び備品(純額)	134,146	139,352
土地	12,479,049	12,479,049
建設仮勘定	263,845	264,560
有形固定資産合計	17,843,324	17,790,371
無形固定資産		
投資その他の資産	17,553	16,689
投資有価証券	4,614,337	10,644,604
繰延税金資産	259,806	254,557
その他	258,732	253,007
貸倒引当金	△44,231	△45,118
投資その他の資産合計	5,088,645	11,107,051
固定資産合計	22,949,522	28,914,113
資産合計	61,409,373	63,422,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	264,536	397,508
1年内返済予定の長期借入金	5,000,000	5,000,000
未払金	565,901	572,041
未払法人税等	577,612	429,711
賞与引当金	166,158	254,848
割賦利益繰延	703,409	648,494
その他	812,780	1,275,793
流動負債合計	8,090,400	8,578,396
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,500,000
役員退職慰労引当金	17,682	17,682
退職給付に係る負債	361,550	356,790
長期預り保証金	1,099,486	1,137,856
繰延税金負債	279,210	326,925
その他	166,644	166,644
固定負債合計	5,924,574	6,505,898
負債合計	14,014,974	15,084,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	48,496,664	48,761,928
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	47,808,520	48,073,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,262	498,197
繰延ヘッジ損益	△197	13,930
為替換算調整勘定	△825,185	△248,138
その他の包括利益累計額合計	△414,121	263,989
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,394,399	48,337,774
負債純資産合計	61,409,373	63,422,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,110,321	3,042,713
売上原価	851,961	779,970
売上総利益	2,258,360	2,262,742
販売費及び一般管理費	1,836,598	1,823,249
営業利益	421,761	439,492
営業外収益		
受取利息	18,678	34,570
受取配当金	32,945	89,130
受取手数料	20,180	16,633
為替差益	17,055	614,488
その他	10,568	20,456
営業外収益合計	99,428	775,278
営業外費用		
支払利息	3,394	3,960
その他	51	316
営業外費用合計	3,445	4,277
経常利益	517,744	1,210,494
特別利益		
有形固定資産売却益	—	81
投資有価証券売却益	—	17,955
ゴルフ会員権売却益	3,709	—
特別利益合計	3,709	18,037
特別損失		
減損損失	1,725	—
有形固定資産除却損	20	—
特別損失合計	1,745	—
税金等調整前四半期純利益	519,707	1,228,531
法人税等	210,516	498,342
四半期純利益	309,191	730,189
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,191	730,189

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	309,191	730,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,919	86,935
繰延ヘッジ損益	△2,872	14,127
為替換算調整勘定	360,595	577,047
その他の包括利益合計	373,643	678,111
四半期包括利益	682,834	1,408,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682,834	1,408,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高(注)3					
顧客との契約から生じる収益	2,748,348	2,515	2,750,863	—	2,750,863
その他の収益(注)4	110,536	248,920	359,457	—	359,457
外部顧客への売上高	2,858,885	251,436	3,110,321	—	3,110,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	58,605	58,605	△58,605	—
計	2,858,885	310,042	3,168,927	△58,605	3,110,321
セグメント利益	449,757	112,013	561,771	△140,009	421,761

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△58,605千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△140,009千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、前年同四半期分も含め、収益の分解情報を記載しております。

4. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高(注) 3					
顧客との契約から生じる収益	2,706,445	2,311	2,708,757	—	2,708,757
その他の収益(注) 4	79,778	254,176	333,955	—	333,955
外部顧客への売上高	2,786,224	256,488	3,042,713	—	3,042,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	63,791	63,791	△63,791	—
計	2,786,224	320,280	3,106,504	△63,791	3,042,713
セグメント利益	435,234	154,369	589,604	△150,112	439,492

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△63,791千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△150,112千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、前年同四半期分も含め、収益の分解情報を記載しております。

4. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。